
Snow Snow Snow

ともえ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Snow Snow Snow

【著者名】

ともえ

【あらすじ】

真っ白な雪の世界。
僕は色を付けた。
色の織り成す世界。
本当に大事な事が見えていますか？

朝

目が覚めると、
外は真っ白な世界だった。

だから僕は、
色をつけた。

これは、 大好きな夏の空の色

これは、 ママが作ってくれる大好きなオムライスの色

これは、 パパの車の色

これは、 僕のお気に入りのくつの色

これは、 太陽の色

これは、 大好きなみつちゃんの色

「次は何色にしようかな」

そんな僕に、雪は舞い降りた。

「ねえねえ、君」

雪は、僕に話しかけた。

「どうして色をつけの？」

「だって淋しいんだもん。真っ白じゃつまらないよ」

「ごめんね。僕たち、顔を喜ばせてあげられる色じゃなくて。
でも、僕たちの色を消さないで」

そう言ひと、雪は泣いた。

フワフワだった雪は、

次第にみぞれとなり、

「次は何色にしようかな」

雨となり、

僕の色を流した。

色に溢れていた世界は

流れて

流れて

一
じ
み
ま
ざ
つ

真つ黒な

世界になった。

真つ黒な

怖くて

真つ黒な世界は、

僕は泣いた。

そんな僕に、
また

雪がフワリ舞い降りる。

「ねえねえ、君。どうして泣いているの？」

「僕の付けた色が、混ざって真っ黒になっちゃったんだ

僕は泣きしつづけた。

そんな僕に、

雪は優しく

慰めるように

しんしん
と、

降つた。

しんしん

しんしん

しんしん

しんしん

真つ黒な世界に、

降り続けた。

やがて、その世界は

淡く 淡く

優しくなつていった。

「わあー明るくなつた！」

僕は喜んだ。

「雪さん、ありがとうー。」

「ねえ、君。

この世界の中で、輝らない色はあると思つ?

明るい色があつて

優しい色があつて

カツコイイ色があつて

強い色があつて

柔らかい色があつて

人と同じように、

いくつもの色があるんだよ」

そう僕に話しながらも、雪は優しく降りつづけた。

「雪さん、僕分かったよ。

雪さんの色は、どんな色も優しい色に変える事が出来るんだね。

だって、

今この世界は

とても優しいんだ

すると、雪はまた泣き出し、

この世界の色を、

また流した。

朝

目が覚めると、

外は、真っ白な世界。

どんな色ものせる」とがでかる、

魔法の色。

太陽に照らされて

キラキラ、光るよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6833m/>

Snow Snow Snow

2010年10月9日19時01分発行